

平成30年度静岡県産業教育振興会定期総会
教育長あいさつ

本日は多数の関係者の御臨席のもと、平成30年度静岡県産業教育振興会定期総会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、本会が長年にわたり、本県高等学校における産業教育の充実と発展に大きく貢献されていることに対しまして、敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年度の専門高校等における生徒の活躍について振り返ってみますと、農業関係においては田方農業高等学校の高橋雪奈さんが日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技の区分「生活」において最優秀賞、工業関係においては科学技術高等学校の山本雄理さんが若年者ものづくり競技大会の旋盤職種部門で厚生労働大臣賞に該当する金賞、商業関係においても県立浜松商業高等学校が全国高等学校簿記コンクールと全国情報処理競技大会でともに第4位など活躍しました。

また、昨年10月14日(日)には実学系高校生の合同学園祭でもある「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」がアクトシティ浜松展示イベントホールで盛大に開催されました。このイベントは、県内の農業、工業、商業、水産、家庭、福祉、芸術の7分野の公立専門高校等42校が一堂に会し、生徒たちが日頃の学習活動の成果について展示や発表を行うものです。当日は、専門高校等への進学を検討している中学生やその保護者をはじめとして、約3,000人の市民にお越しいただき、専門高校等をPRするまたとない機会となりました。今年度は沼津市での開催を予定しています。

ところで、平成27年に静岡県産業教育審議会より「専門高校等における新しい実学の奨励の在り方について」の答申が出されました。その中には、新しい実学を奨励するためには次代の産業を担う人づくりの在り方や社会の変化に柔軟に対応し、地域産業の発展と新産業の創出に貢献できる能力などを育成するための方策等の具現化が必要であり、そしてそのためには教職員の指導力向上研修の充実と技術・技能に秀でた新しい人材の確保や実験・実習等のための施設・設備の整備が重要であるとの御指摘がありました。県教育委員会といたしましても答申に基づきながら、前向きに取り組んでいるところであります。

結びにあたり、本日御臨席の皆様におかれましては、産業教育を学ぶ高校生の進路実現のため、今後ともより一層の御支援と御協力を賜りますよう、この場をお借りしてお願い申し上げますとともに、本県の産業教育並びに本振興会のますますの御発展を御祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

平成30年7月23日
静岡県教育委員会教育長 木苗 直秀